



富士見台

家庭数配布

<http://www.fujimidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

来し方に本という文（ふみ）の林ありて

その下陰に幾度いこひし

校長 眞瀬 敦子

恩師より贈られし本ひもとけば若き学びの日々のなつかし

弟に本読み聞かせるたる夜は旅する母を思ひてねむる音読の声が生まれる一限目明日へ遠くへ本がいざなふ秋の気の音なく満ちて指先に起こしては繰る本こそが本

「あったよねこの本うちに」流された家の子が言ふ移動図書館

二人して荷解き終へた新居には同じ二冊が並ぶ本棚

この本に全てががつまつてるわけぢやないだから私が続きを生きる

ちらほらと紅葉も始まるこの季節が来ると、どうしても私は本の話がしたくなってしまいます。

昨年11月号は表題に山口青邨の句を挙げさせて頂いたのですが、そういえば今年の歌会始のお題は「本」だったと思い出し、スクラップブックから抜き出してきたのが上記の8首です。

深い共感を覚えて、表題に使わせて頂いたのは、皇后美智子さまの本への感謝を読んだお歌、2首目は雅子さま、3首目は佳子さまです。（お名前を聞くと、成る程…と思いませんか？）

4首目は、選者の三枝昂之さん。今の本校はこんな風に一日が始まっています。5首目は正にこの季節を詠んだ、やはり選者の今野寿美さん。6首目からは入選者の歌で、平井敬子さんが詠んだ被災地のこの子の本棚に、今は愛読書が沢山並んでいることを願わずにはいられません。

7首目、我が家の話で恐縮ですが、雑誌の編集をしていくせに専門誌以外ほとんど本を読まなかった（今は結構読むようになりました、私の感化で…）夫の数少ない蔵書で、私の持ってきたものと同じだったのが、安部公房の「砂の女」と、なだいなだの「人間、この非人間的なもの」の2冊。

「一体この人はどういう趣味なんだろう？」と戸惑っ

たことを今でも思い出します。（皆さんのご家庭では如何でしたか？）

その反対に、最後に担任をしていた学校で学年を組んだHさんとは、二回りも年が違うのに読書の趣味が驚くほどぴったり合って、お互いに読んでいる本を教え合うのが何よりの楽しみでした。感想を語り合うことはしませんでした。同じ本を読んでいたことも多く、なかなか大変な学校だったのですが、「あ、それ今私も読んでます！いいですよー」と言葉を交わすことで心が豊かになれる、そんな4年間でした。そうそう、この歌を詠まれたのは、五十嵐裕治さんという57歳の方です。素敵なお夫婦なのでしょうね。

そして最後の、若々しい自信と誇りに満ちたこの歌を詠んだのは、小林理央さん、15歳です。

こんな子を育てる学校でありたいと、切に思います。

本校では、学校図書支援員の丹羽さんが、いつも素敵な本を子供たちに紹介してくれています。

これが実にバラエティーに富んでいて、大人でも十分楽しめる本ばかり。ほとんど物語しか読んでこなかった私にとって、丹羽さんが紹介している本を読むことは密かな楽しみとなっています。

先日も「コンビニ弁当16万キロの旅」というのが書架の上に飾られていたので何気なく手に取ったら、その面白いこと！

子供たちへの紹介だからと、後ろ髪引かれる思いで本棚に返したのを見ていらしたのか、翌日には「図書館で借りてきましたから、ごゆっくりお読みください」という付箋付きで、私の机の上に載っていました。家に持ち帰り夫にも勧めて、二人で「へー！」を連発しながら読み耽ったことでした。

先生方が授業に使っている本も様々で、参考になります。

先日は北村先生が授業に使っていた、五味太郎の「らくがき絵本」というのを入手しましたが、これを授業に使ってみようというアイデアが楽しい。

その北村先生がプロデュース(?)する、初めての展覧会が13日から始まります。乞う、ご期待！

11月行事予定

- 1日(日)地区祭
- 2日(月)全校朝会 委員会活動
- 3日(火)文化の日
- 9日(月)全校朝会
- 11日(水)安全指導 読書旬間終
- 12日(木)体育朝会 竹馬一輪車始
- 13日(金)・14日(土)展覧会 3時間授業
- 16日(月) 全校朝会
- 17日(火)中学校との校区別協議会
4時間授業
- 18日(水)石東中吹奏楽鑑賞3～6年
6校時
- 19日(木)児童集会 避難訓練
- 20日(金)クリーンデー
- 23日(月)勤労感謝の日
- 24日(火)全校朝会
- 25日(水)校内研究5年生以外4時間授業
- 26日(木)月曜時間割 個人面談
- 27日(金)音楽朝会 小中連携クリーン運動
- 30日(月)全校朝会 5年連合音楽鑑賞教室

掲示委員会

東側昇降口に貼ってある、「ふじみっ子新聞」各階段踊り場に貼ってある「季節の詩」をご覧ください。ありますか。掲示委員会では、毎月1回行われる委員会の時間に新聞、詩の2つを作成しています。5年生と6年生が各月で新聞と詩を担当しています。

新聞はその月の予定や行事の紹介、各学年へのインタビューなどを記事にし、大きな模造紙1枚にまとめ、掲示しています。

季節の詩は、その月の学校行事や年中行事、季節の特徴などを個々の思いで自由に書いています。

読んだ人が季節を感じられるよう、また低学年から高学年まで、見る人、全てにとってわかりやすいものになるよう、どういうふうにか書こうか毎回悩みながら、一生懸命考えて書いています。

掲示してある新聞や詩を見て、季節を感じていただけると嬉しいです。

担当 五十嵐 公一 須貝 温子

委員会紹介

環境委員会

【環境への関心を高める主体的な活動】

環境委員会では主に当番活動としてピオトープの観察を行い、自然の様子を全校にお知らせする活動しています。また、外来種の植物や、他の植物に悪い影響を与えるヤブガラシを除去したり、遊歩道を整備したりしています。遊歩道は裏側まで続いていて、ピオトープをぐるりとまわられるようになっています。そのため季節ごとに様々な動植物を見つけることができるようになりました。毎年環境委員会の整備が実を結び、今年も池にはトンボが卵を産み付けに来ています。

ピオトープ以外の活動としては、エコな活動を広めていくための活動を進めています。毎月子供達が作成する「環境新聞」に加え、今年は「ピオトープウォークラリー」を企画中です。今年度中に実施できるように委員長中心に話し合いを行っています。大事なことは、子供たちが「やってみたい」と思うこと。そしてどのようにしたら実現できるかを考え、自分たちで実行することだと思います。現在委員会の中にはそのようなやる気を感じさせる清々しい空気が流れています。この空気を全校にも広めていけるようがんばってほしいです。

担当 坪田真尚 茂木博介

11月生活目標

つか もの たいせつ
みんなで使う物を大切にしましょう

持ち物に記名をお願いします！！

職員室の後には忘れ物を置いておく棚があり、今、棚の上にはトレーナーやジャケットなどの服が山盛りに置かれています。他にも水筒や文房具などがたくさんあります。どれも名前があれば持ち主に返せるのですが、一定期間を保存して、持ち主が現れなければ、処分することになります。

学校ではすべての持ち物に記名をお願いしています。記名があっても学年クラスが書いてない物、以前そのままになっているもの等が少なくありません。今月の生活目標は上記のように「みんなで使う物を大切にしよう」ですが、是非、持ち物の記名、学年クラスの記載の再確認をよろしくお願いいたします。